

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	令和元年12月23日（月） 東北地方整備局 大会議室	
委員	部会長 鈴木 覚 【弁護士】 部会長代理 大泉 太由子 【(一社)東北圏地域づくりコンソーシアム理事】 委員 赤石 雅英 【公認会計士、税理士】 委員 西村 修 【(国)東北大学大学院 工学研究科 教授】	
審議対象期間	平成31年 4月 1日 ～ 令和元年 9月30日	
審議案件	総件数 12件 （別紙－1 審議案件一覧のとおり）	
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	5件
	工事希望型競争入札	0件
	指名競争入札	1件
	随意契約	1件
	建設コンサルタント業務等	2件
役務の提供等及び物品製造等	2件	
（備考）	(1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙－2のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙－3のとおり	

審議案件一覧

(抽出対象期間: 平成31年 4月 1日 ~ 令和元年 6月30日)

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	高瀬川水環境対策工事	一般土木工事	4	4	令和1年6月14日	(株)鳥山土木工業	61,820	98.4	高瀬川
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	鳥海ダム工用道路工事	一般土木工事	4	4	令和1年6月27日	山科建設(株)	71,390	99.8	鳥海ダム
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	志津地すべり大越川地区対策工事	さく井工事	4	4	令和1年6月7日	(株)柿崎工務所	129,800	95.0	新庄

入札方式	工事名	工事種別			契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
随意契約方式	寒河江国道西地区維持補修工事	維持修繕工事			平成31年4月1日	國井建設(株)	125,820	99.8	山形

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業務名	業務区分			契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
随意契約方式	宮城県内春期水質分析業務	土木関係建設コンサルタント業務			平成31年4月1日	(株)パスク	10,368	96.2	東北技術

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式	山形県ブロック行政情報システム運用業務	役務の提供等	1	1	平成31年4月1日	(株)管理システム	27,972	98.3	情報通信技術課

審議案件一覧

(抽出対象期間: 令和元年 7月 1日 ~ 令和元年 9月30日)

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)	区界道路トンネル照明設備工事	電気設備工事	8	6	令和1年9月10日	(株)弘電社	745,800	91.4	岩手

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	八木田跨線橋補修工事	一般土木工事	1	1	令和1年8月7日	(株)柏崎組	112,200	99.0	青森
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	秋田地区交通安全対策工事	アスファルト舗装工事	1	1	令和1年9月27日	秋田舗道(株)	117,700	99.7	秋田

入札方式	工事名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
工事希望型以外の指名競争入札方式	物見山外発電設備等工事	受変電設備工事	7	3	令和1年9月6日	富士古河E&C(株)	136,400	93.5	北上川統管

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業務名	業務区分			契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
随意契約方式	成瀬ダム管理庁舎実施設計業務	建築関係建設コンサルタント業務			令和1年7月11日	(株)日総建	34,760	99.8	成瀬ダム

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式	能代管内トンネル非常用施設点検整備	役務の提供等	1	1	令和1年7月29日	秋田ノーミ(株)	5,005	97.9	能代

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
質問なし	

2. 審議	
意見・質問	説明・回答
1 高瀬川水環境対策工事	
<p>・覆砂工事は初めての工事ということで良いか。また、今後も環境対策として継続していく予定はあるのか。</p>	<p>・当事務所では初めての工事である。工事の目的としては、湖の底に溜まっている、一般に「ヘドロ」と呼ばれるものが巻き上げられないように、砂で抑えていく実験的な取組を行ったものである。今後も実施していく予定であるが、良好な結果であれば工事を拡大していく事を考えている。</p>
2 鳥海ダム工事用道路工事	
<p>・入札調書をみると、各企業とも高めに入札金額を設定しているが、考えられることはあるか。</p>	<p>・本工事の主な内容は、鋼製の仮橋が金額的にも大きい工事である。直接工事費に対する材料の購入金額や下請金額の占める割合が高いことから受注者としての利益を確保するために、応札額が高くなったものと推察される。</p>
3 志津地すべり大越川地区対策工事	
<p>・過去5ヶ年の契約業者名が記載してあるが、ほぼ3～4社で持ち回りで受注しているように見える。技術の特殊性、地域性を勘案し、地元企業対象の発注工事で、限られた企業になると思うが、それでも競争の原理が働く工夫が必要だと考えるが。</p> <p>・総合評価落札方式で、(株)柿崎工務所が最高評価値であったことから落札したということによろしいか。</p> <p>・一次下請に、同一入札に参加した、(株)新東京ジオ・システムが入っている。下請金額も相当な金額であり、契約金額との差額が管理料となると思われる。落札者以外の企業は、下請に入れるべきではないと思うが如何か。</p>	<p>・CORINS による検索では、参加可能な企業数は17社となっている。企業に求める施工実績も「地すべり防止工」とし、参加資格要件はかなり広げているが、「地すべり防止工」の施工経験を持っている技術者が少ないことから、参加を見送ったものとする。</p> <p>・そのとおり。</p> <p>・(株)新東京ジオ・システムは、受注を目指して入札に参加したものとするが、総合評価の結果、(株)柿崎工務所が落札し、一次下請に入ったものである。全ての工事を(株)新東京ジオ・システムが施工するものではなく、(株)柿崎工務所は元請として、工事用道路の施工等を実施しており問題ないとする。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・(株)新東京ジオ・システムが、一次下請に入った経緯とか聞いていることはあるか。 ・平成30年度に、(株)新東京ジオ・システムが受注しているが、(株)柿崎工務所が一次下請に入っていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に聞いていない。 ・入っていない。
<p>4 寒河江国道西地区維持補修工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・国井建設(株)の施工実績、成果はどうであったか。 ・落札率が99.8%と非常に高い。予定価格の積算にあたり、国井建設(株)から積算に必要な見積りを出して貰っていないか。 ・随意契約の場合、契約金額は交渉して決めるのか。 ・10年くらい同じ企業が契約し、しかも、専門の機械も持っている。高額な機械だと思われるが、この工事を受注しなければその機械が使えない、ということになり、何が何でも受注しなければならない、という状況になっていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事地区は、日本有数の豪雪地帯であり、冬期間は除雪を実施し、交通を確保している。除雪の機械も専門的なものが入っている中で、しっかりと対応している。 ・単価や歩掛は公表されており、予定価格の積算にあたって、必要な情報は、この工事以外でも基本的に公表されている。見積参考資料においても、詳細な設計条件等を示しており、一定程度、企業側も把握できると考える。 ・随意契約の場合、この工事に限らず、あくまでも見積書を提出してもらう。結果的に今回は99.8%になったが、交渉で決めるということはない。 ・専門の機械という説明をしたが、特に、除雪作業における、グレーダーであるとか薬剤散布車は国が所有している機械であり、受注企業に貸与している。機械を所有しているから有利に働くものではない。
<p>5 宮城県内春期水質分析業務</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急対応的に2ヶ月分を随意契約し、その後は、一般競争入札方式を実施したという事で良いか。 ・随意契約を締結するにあたって、唯一、この企業でなければならない根拠的なものを説明願いたい。 ・6月の一般競争入札において落札した企業は何か。 ・何社が入札に参加したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。4月、5月分を随意契約し、6月以降は一般競争入札方式による総合評価落札方式により契約している。 ・平成31年4月1日から業務を実施する予定で、入札にかかる公示を行ったが、業務内容を精査した結果、3月の中旬に入札を取りやめる必要が生じたため、4月1日から、24時間体制で緊急時の対応を実施することが困難となった。4月1日から対応できる企業は、過年度において当事務所における水質分析の受注実績が必要であると判断し、当該企業と随意契約を締結したものである。 ・随意契約していた(株)パスクであった。 ・1社入札であった。

6 山形県ブロック行政情報システム運用業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度も同一企業であった、との記載があったが、それ以前の情報はるか。 ・平成30年度は複数社が参加したのか。 ・入札参加者を増やすような方策はとったのか。 ・プログラム等、システムに不具合が出た場合、それを修復できるのは、システム作成を受注した企業のみではないのか。 ・東北地方整備局全体で契約し、業務実施体制は相手方に任せるなど、東北6県全体で入札し、複数の参加者が応募できる環境を整えてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から県ブロック一括発注としている。平成29年度までは各事務所毎に発注していた。 ・1社入札であった。 ・技術者を「常駐」としていたものを、不要としたり、4事務所のうち1事務所に出向き、他の3事務所についてはリモートで対応するとか、参加しやすい条件にしている。 ・業務内容は、主に職員に対する利用者支援であり、他には、システム障害が発生した場合、サーバとかパソコンについて、一次チェックを実施するなどの業務であることから、通常の一般競争入札により実施している。 ・平成29年度までは、各事務所毎に契約を実施していたが、現在、県ブロックでどのくらい集約できるか検討中である。将来的には東北地方整備局一括契約が可能か検討している。
7 区界道路トンネル照明設備工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札調書に、無効、不参加の4企業があるが理由を把握しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不参加の2社は、本工事とは別の工事を受注し、申請した技術者が、そちらに従事することとなった事による。無効の2社は、調査基準価格を下回ったことによるものである。
8 八木田跨線橋補修工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・多工種の工事になったというのは、何か経緯があったのか。 ・道路補修も一緒にしたのは何か理由があったのか。 ・1回目の入札が7月25日、2回目7月26日に実施している。入札価格が予定価格を超過していることで実施したのか。 ・そうすると、少しずつ金額を下げて予定価格を下回るまで、何回も続けるのか。 ・1回目の入札で落札せず、2回目の入札では100%に近くなると思われるが如何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつの橋の中に補修すべき箇所が多数あり、支承であるとかコンクリート補修であるとか、ひとつの橋で多工種になっているというのが実態である。 ・橋梁の近くに現場があるということと、前後に舗装工事が発注されていないこともあって、本工事と一緒にして発注したものである。 ・そのとおり。 ・基本的に2回を限度として実施している。緊急性があるような場合は3回を限度としている。 ・1回目の入札で予定価格を超過し、見積条件の考え方に勘違いがあると思われる場合は、1回目の入札後、内容の説明をしたうえで2回目の入札を行っている。

9 秋田地区交通安全対策工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・道路のアスファルト舗装工事なのに、工期が10月から3月という降雪期にどうして発注したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初発注は、6月に公告しており、降雪前に舗装工事を完成する予定であったが、入札不調となったことから、施工箇所を2箇所に絞り、再度、発注したものである。また、潟上市及び秋田市内の飯島地区においては、比較的降雪が少ない地区であり3月までに完成すると判断したものである。
10 物見山外発電設備等工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・質問なし 	
11 成瀬ダム管理庁舎実施設計業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が99.8%と非常に高いが、考えられることはあるか。基本設計の公示の時に、実施設計を随意契約するという条件を付したことと関係があるか。 ・基本設計を受注した段階で、実施設計も受注できるということであれば、金額も含めてひとつの契約にすべきではなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築の設計については、建築士法の告示により、建築士事務所がその業務に関して請求できる報酬の基準が示されている。これに基づき業務の積算基準も公表されており、相手方から見積りをとる項目もなく、公表されているもので100%に近い金額になったものと推測される。前業務で随意契約をとした条件と関係はない。 ・1年間で基本設計と実施設計を完了することが、業務量的に難しいと判断したものである。
12 能代管内トンネル非常用施設点検整備業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、同一社と契約しているが、考えられる理由はあるか。 また、1社が継続していく場合は、その成果をきちんと評価していく必要があると思われるが、どのような対応をしているのか。 ・秋田ノーミ(株)とグループ企業との説明があったが、どこの企業か。 ・NEXCO 関連の設備等の設置企業という関係ではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NEXCO と調整しながら夜間の作業となり、集中的に保守点検を行うほか、複数企業との調整があることから、制約が大きく、他の企業が参加しにくくなっていることが考えられる。点検整備の対象機器がグループ企業の製品であり、ノウハウを持っている事が有利になっているとも考えている。 成果の評価にあたっては、しっかりと監督検査を進めていきたいと考えている。 ・消火栓の製作をしたのが能美防災(株)であり、グループ企業となっている。 ・能美防災(株)は、全国的に防災設備の実績を多く持っている企業である。

3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。

ただし、今後の入札契約手続において意見要望がある。

・禁止はされていないと思うが、同一入札で落札していない企業が一次下請に入っているというのは、不健全というか、談合の温床になるのではないかと懸念される。

禁止できないとすれば、常に念頭に置いて契約事務を進めていただきたい。

・随意契約について、随意契約に至った経過は理解しているところだが、随意契約以外の競争入札にできないものか、引き続き検討に努力していただきたい。

・競争入札では、毎回、1社入札となっている案件があった。1社入札に至った結果については、様々な理由があり、やむを得ないものだと思うが、競争入札の肝心なところは形式上の入札の形態ではなく、実質的にも入札の競争性が確保されていることである。

引き続き、1社ではなく実質的な競争を確保できるよう模索していただきたい。

・結果的に1社入札になった場合であっても、数年にわたり同一企業が契約している案件があった。請負契約において、成果と実績等をチェックしていくことも大事であり、そういった観点からの検討をお願いする。

今後とも、入札及び契約手続きにおける一層の透明性及び競争性の確保など、入札・契約業務の適正な執行を図っていただきたい。

【当局からのコメント】

本日は、長時間にわたりまして、熱心なご審議をいただき、誠にありがとうございました。

本日の、報告、議事等を通じて、委員の皆様からいただきましたご意見、ご要望につきましては、今後の入札・契約事務のさらなる透明性・競争性の改善に向け、参考とさせていただきます。

引き続き、今後とも、ご指導のほど、よろしくお願いたします。